

様式第12号（第11条関係）

市川市市民活動団体補助決定事業実績報告書

平成 29 年 4 月 3 日

市川市長

団体名 市川なのはな会

(団体番号 64 )

代表者名 伴 彥子

所在地 市川市真間5-4-19

平成28年8月12日付けで交付決定のあった市川市市民活動団体事業補助金について、下記のとおり補助決定事業を完了したので、報告します。

記

報告事項

(1) 補助決定事業費総額	843,928円
(2) 補助対象経費総額	734,920円
(3) 補助金交付決定額	300,000円
(4) 補助金交付概算払額	300,000円



(5) 実施報告

補助決定事業の名称	動作法による障害児者への療育事業
補助決定事業の実施内容  (計画に照らした事業の実施結果を記載してください。)	計画どおりに出来たこと、出来なかったこと等を具体的に記載してください。 ・年11回計画した月例会は、全て予定通りに実施できた。 (実施日：4/17、5/15、6/19、7/17、9/11、10/16、11/20、12/11、1/15、2/12、3/5) ・参加人数 毎回約50名
広報の実施状況  (市民の参加を呼び掛けるために実施した広報等の実施状況を記載してください。)	・広報いちかわ(市民の広場)に掲載。 ・市内の障害児者を育てる保護者へ、例えば同じ特別支援学校に通う関心のある保護者や福祉事業所に通所している保護者に、個別に説明をして呼びかけをしたりする。
補助決定事業の成果  (課題をどのように解決することができたのかを記載してください。)	補助決定事業を実施したことによりどのようなメリットがあったのか、地域がどのように変わったのか等得ることができた成果を具体的に記載してください。 ・障害児者がこの動作法を学ぶことにより、日常的により良い体の使い方を覚え、その後、行動の変容を継続してもたらすことができたと思う。
補助決定事業を実施したことにより把握した課題と改善策  (今後の方向性)	補助決定事業を実施したことによって、どのような課題を把握し、及び当該課題を解決するための改善策をどのように講じたのか記載してください。 ・個々の課題は、継続して訓練会に参加することで改善の方向にいくため、月に一度の訓練会に参加することが大事だと実感した。 ・トレーナーの育成や確保も、マネージャーの方々と協力して取り組んでいく事が大事なので、実践していきたい。

## 市川市市民活動団体事業補助金収支決算書

補助決定事業の名称: 動作法による障害児者への療育事業

## 1【収入】

項目	金額	説明(積算等)
事業収入	0	
寄附金収入	0	
補助金収入	300,000	
その他 (助成金等)	0	
会費充当	543,928	
会費	0	
市川親の会	0	
社会福祉協議会	0	
合計	843,928	

## 2【支出】

項目	支出金額	うち補助対象金額	説明(積算等)
報償費	715,000	660,000	
交通費	0	0	
消耗品費	7,886	1,000	
印刷製本費	1,000	0	
通信運搬費	0	0	
保険料	22,790	21,500	
使用料及び賃借料	54,360	52,420	
原材料費	0	0	
食糧費	42,892	0	
研修費	0	0	
学会会費	0	0	
慶弔費	0	0	
キャンプ費	0	0	
雑費	0	0	
合計	843,928	734,920	

※ 領収書(原本)を添付してください。

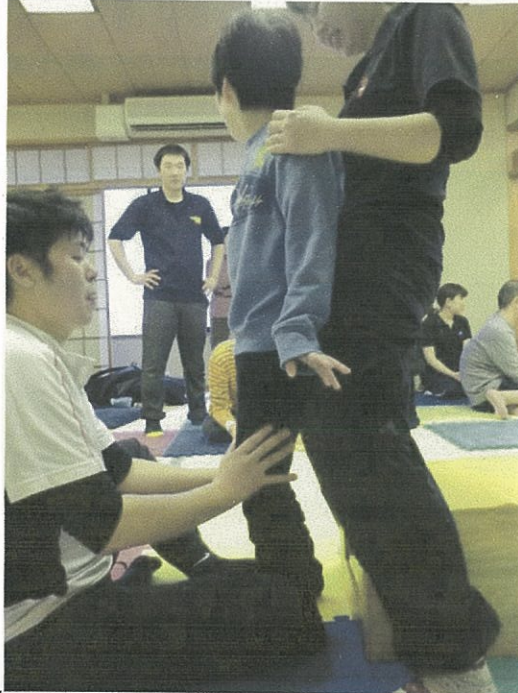
(6) その他

※ 補助決定事業に係る活動の様子が分かる写真を2枚添付してください。

タイトル : 月例会の様子

撮影年月日: 平成28年5月15日

◆足の裏での大地のふみしめ



タイトル : 今年度最後の訓練会

撮影年月日: 平成29年3月5日

◆いす座位でのふみしめ



「いす座位でのふみしめ」